

土地の所在

高松市太田下町字間夫1985-2, 1989-2, 1989-14の一部
1989-15の一部, 1995, 及び地先農道・水路

土地利用計画図

変更後

開発許可
年月日

令和6年2月28日
第R5-1-127号

申請者

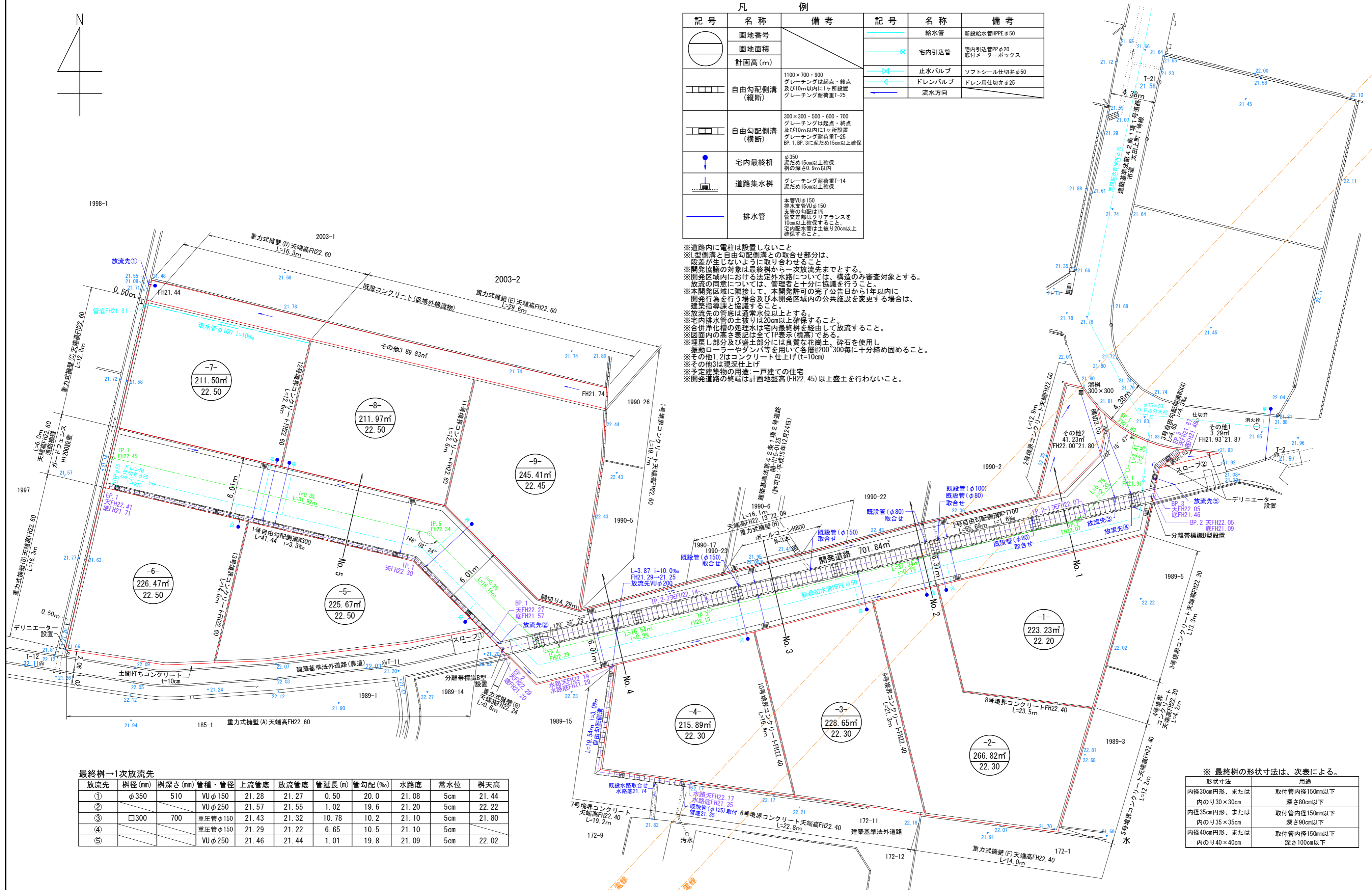
株式会社
フロムファースト・HD
代表取締役 佐野 由紀子

住所・氏名
作製

高松市三条町式七八番地壹式
株式会社高松合同企画
土地家屋調査士・測量士 野田 明良

凡例			備考		
記号	名称	備考	記号	名称	備考
○	画地番号		—	給水管	新設給水管HPPEφ50
○	画地面積		—	宅内引込管	宅内引込管PPφ20 底付メーターボックス
○	計画高(m)		⊗	止水バルブ	ソフトシール仕切弁φ50
□	自由勾配側溝(縦断)	1100×700・900 グレーチングは起点・終点 及び10m以内に1ヶ所設置 グレーチング耐荷重T-25	←	ドレンバルブ	ドレン用仕切弁φ25
□	自由勾配側溝(横断)	300×300・500・600・700 グレーチングは起点・終点 及び10m以内に1ヶ所設置 グレーチング耐荷重T-25 BP.1, BP.3に遅だめ15cm以上確保	→	流水方向	
●	宅内最終枺	φ350 遅だめ15cm以上確保 枺の深さ0.9m以内			
■	道路集水枺	グレーチング耐荷重T-14 遅だめ15cm以上確保			
—	排水管	本管VUφ150 排水支管VUφ150 支管の勾配は1% 支管支脚部クリアランスを 10cm以上確保すること。 宅内配水管は土盛り20cm以上 確保すること。			

※道路内に電柱は設置しないこと
 ※L型側溝と自由勾配側溝との取合せ部分は、
 段差が生じないように取り合わせる事
 ※開発協議の対象は最終枺から一次放流先までとする。
 ※開発区域内における法定外水路については、構造のみ審査対象とする。
 放流については、管理者と十分に協議を行うこと。
 ※本開発区域に隣接して、本開発許可の完了公告日から1年以内に
 開発行為を行う場合及び本開発区域内の公共施設を変更する場合は、
 建築指導課と協議すること。
 ※放流先の管底は通常水位以上とする。
 ※宅内排水管の土盛りは20cm以上確保すること。
 ※合併浄化槽の処理水は宅内最終枺を経由して放流すること。
 ※図面内の高さ表記は全てTP表示(標高)である。
 ※埋戻し部分及び盛土部分には良質な花崗土、砕石を使用し
 振動ローラーやダンパ等を用いて各層200・300毎に十分締め固めること。
 ※その他1,2はコンクリート仕上げ
 ※その他3は現況仕上げ
 ※その他4は現況仕上げ
 ※開発道路の終端は計画地盤高(FH22.45)以上盛土を行わないこと。



最終枺→1次放流先

放流先	枺径(mm)	枺深さ(mm)	管種・管径	上流管底	放流管底	管延長(m)	管勾配(%)	水路底	常水位	枺天高
①	φ350	510	VUφ150	21.28	21.27	0.50	20.0	21.08	5cm	21.44
②			VUφ250	21.57	21.55	1.02	19.6	21.20	5cm	22.22
③	□300	700	重圧管φ150	21.43	21.32	10.78	10.2	21.10	5cm	21.80
④			重圧管φ150	21.29	21.22	6.65	10.5	21.10	5cm	22.02
⑤			VUφ250	21.46	21.44	1.01	19.8	21.09	5cm	22.02

※最終枺の形状寸法は、次表による。

形状寸法	用途
内径30cm円形、または 内径30×30cm	取付管内径150mm以下 深さ80cm以下
内径35cm円形、または 内径35×35cm	取付管内径150mm以下 深さ90cm以下
内径40cm円形、または 内径40×40cm	取付管内径150mm以下 深さ100cm以下

縮尺 1:250 (A2)